

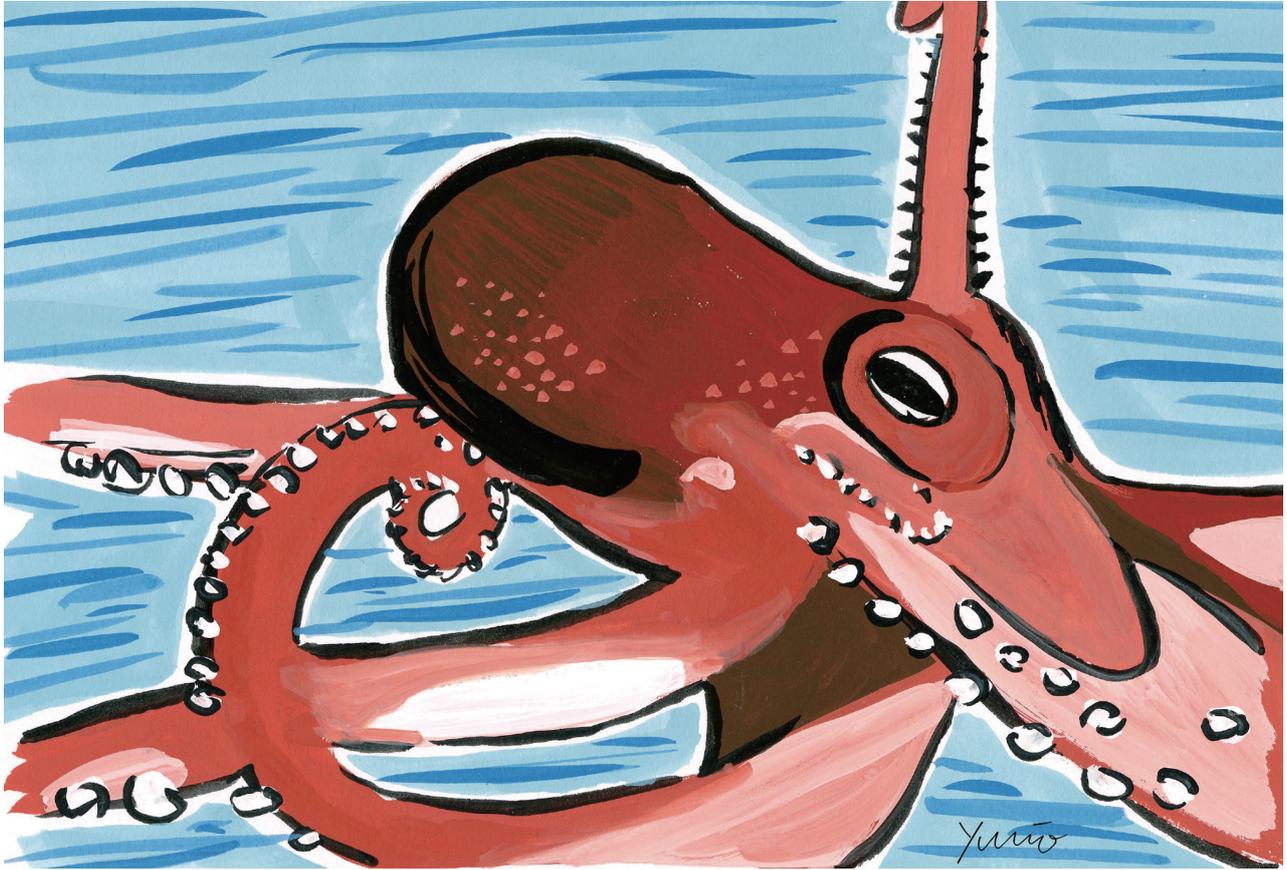
大阪府市場だより

第293号

(平成28年7月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp



絵:「たこ」磯野 由美 (磯丸運送)

府・管理センター等からの報告を協議

定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が7月21日9時20分から管理棟4階会議室で開催された。山口秀雄議長「府水産物卸協同組合理事長の挨拶の後、議事が進められた。冒頭、6月24日に就任された大果大阪青果株式会社取締役北部支社長の堀ノ内重治氏のご挨拶があった。

議題1、大阪府の菅野次長から7月5日に開催された北大阪流通業務団地周辺道路対策協議会について、①団地周辺での交通安全啓発活動の9月末実施、②食流センター北側の市道4号線と府道八尾茨木線との交差点部分の歩道安全対策について道路管理者(府市)と茨木警察との3者で協議を行い、9月末ごろに報告を受けると説明があった。

議題2、管理センターの宮前統括から3頁の項目と、JTBが発行する大阪府内7信金による観光モデルコース紹介冊子の北大阪ページコラムに「こだわり食材が揃う大阪府中央卸売市場」として掲載されていることが報告された。東野府青果卸売協同組合理事長から「ソフト事業により売上げは伸びているか」との質問があり、宮前統括は「府市場からの直送ということで、インパクトがあり、売上げが伸びている」との回答があった。また、東野理事長から「日だけのイベントはかなり負担である」との話があり、山口議長から、「1週間実施すると、府市場からお手伝いに行くことになり、大変になるのでその辺でいよいよ調整ができればと思っています」と述べられた。

議題3、市場協会から①7月6日開催の市場開放デー実行委員会について報告があった。②7月20日開催の文化祭及びソフボール大会の各実行委員会について報告があった。三木福利厚生部会長から、「文化祭の出品作に優秀をつけるのはどうか」というのはあるが、できるだけ多くの方

から出品や鑑賞していただくため鑑賞者に人気投票をしていただき、人気の上位出品者3名の方ぐらいに気持ちの物を出したらいかか」との提案があり、山口議長から「管理センターから提供したい」と賛同され、提供いただくことになった。③平成29年のカレンダー挿絵について承された。④8月3日に開催される食品衛生指導員研修会講習会の参加依頼があった。河井食品衛生検査所長からも出席要請があった。

議題その他、食流センターの田中常務から、A棟修繕工事は12月一杯で完成する予定で進んでいることが報告された。山口議長から、「直接集荷検査は成果が上がつているのか」との質問があり、根来府課長は「昨日までで検査対象26業者中半分が終了し、このうち半分が府の指導点を改善しているが、残り半分は府が指示するまでに提出されないと問題があるので、下期に検査していく」と回答があり、山口議長は「卸とはもちろんだが、仲卸も同じ条件で商売していただくことが重要なので、しっかり頼みたい」と述べられた。

最後に、中村府市場長が「9月初旬ごろに平成29年の休開場日については通知させていただきます。また、8月2日の活性化協議会では、経営展望の進捗状況と新経営展望の議論をお願いする。新経営展望の議論はあと11月と3月の計3回の協議会で議論いただく予定でありよろしくお願したい」と述べられた。



府市場活性化事業

府市場では、市場活性化事業として、場内の卸や仲卸会社とともに、産地や量販店、事業連携している大学などの協力により、生鮮食品の消費拡大キャンペーンや食育事業を展開している。

◎府市場まつり

◆イオン四條畷店で「イワシを使ったメニュー」を紹介 梅花女子大学

6月25日、事業提携している同大学食文化学科とのコラボ企画を開催した。今回は「味の素」さんの協力も得て、イワシをテーマに学生が考案した簡単に作れるおすすすめメニュー「イワシと梅のロール焼き」「真いわしの揚げ焼き」「中華風味」など3種類のレシピを配布し、消費拡大を図った。



また、府市場からはセリちゃんも駆けつけ会場を盛り上げた。「イワシと梅のロール焼き」はお客さんに試食をさせていただき、評判は上々であった。イオンモール各店舗で実施する「市場まつり」は大好評で、引き続き開催を予定している。

◎食育活動

◆トマトの食べ比べで岐阜県の特産品を実感 大阪成蹊短期大学

府市場が事業連携している同短期大学において、6月24日に、調理・製菓学科調理コースの学生を対象に岐阜県の産地や特産品を紹介する授業を行った。

当日は、J A全農岐阜、岐阜県の担当者の方を講師として迎え、岐阜県の農業の特色や、主要産物であるホウレンソウとトマトについて詳しく紹介していただいた。その後、府市場の卸売業者の大阪北部中央青果(株)から7種の特産品を提供いただき、学生さんが食べ比べた。まだトマトの出荷時期としては早いこともあり、食べ比べをしたのは7種だけだったが、同じトマトでも品種や産地に

よって味や食感が違うことは食べ比べを行うことでしか実感できないこともあり、学生にとつては貴重な体験となった。協力・岐阜県大阪農産物情報センター、J A全農岐阜、大阪北部中央青果(株)



◆大阪産(もん)の消費PR活動に向けた産地研修会 大阪成蹊短期大学

府市場が事業連携している同大学のマネージメント学科食ビジネスコースの学生たちがJ A全農大阪の消費PR活動に協力することとなり、6月21日に、PRする産地の特産品や特徴についての知識を得るため、産地(J A大阪南)見学と研修会を行った。

当日は、まず今年度消費PRに協力することとなった3つの地域(いずみの、大阪泉州、大阪南)の各J Aの担当者から、それぞれの産地について説明があり、その後学生たちは近くの「大阪南」の栽培圃場を見学し、生産者の方と生産にあつたポイントや農家おすすすめの調理法など熱心に聞き、意見を交換した。成果の発表が期待される。協力・J A大阪泉州、J A大阪南、府市場管理センター(株)



市場開放デーの実施要領案を決定

市場開放デー実行委員会

同実行委員会(委員長 榎本昭弘・府水産物卸協同組合副理事長、副委員長 細田喜代司・府青果卸売同組合副理事長)が7月6日に開催された。

榎本委員長から「今年も、来場者の皆さんに満足してもらえよう、創意工夫を凝らし、一杯頑張ります」との挨拶があり、榎本委員長を議長に、実施要

領案等を次のとおり決定した。①開催日時…11月13日(日)午前9時から正午②実施場所…水産棟1階せり場(水産大通りを含む)③開催内容…青果・水産物即売コーナー、マグロの解体・即売コーナー、加工食品即売コーナー、食育コーナー、

阿波踊りイベント、開会式の演奏④周知集客方法…近隣市広報誌に掲載依頼やチラシの配布⑤警備の委託⑥今回の実行委員会開催



市場開放デー実行委員会委員 H28.7.6 (敬称略)

氏名	所属
委員長 榎本 昭弘	大阪府水産物卸協同組合
副委員長 細田 喜代司	大阪府青果卸売協同組合
委員 能登 寿夫	大阪北部中央青果棟
委員 細川 満	大果大阪青果棟
委員 和田 太	榎うおいち
委員 平井 康夫	榎大 水
委員 永富 完次	大阪府青果卸売協同組合
委員 井上 幸治	大阪府水産物卸協同組合
委員 藪井 貴子	榎北部冷蔵サービスセンター
委員 松本 烈臣	大阪府中央卸売市場管理センター(榎)
委員 辰見 元有	榎大阪府食品流通センター
委員 新垣 芳雄	関連事業者組合三十三会
委員 根来 実	大阪府中央卸売市場
委員 高橋 知子	大阪府食品衛生検査所
委員 池田 幸雄	大阪府中央卸売市場協会



ソフトボール大会・文化祭の実施要領案を決定

市場協会の福利厚生部会(部会長 三木博司大阪北部中央青果(株)社長)では、三木部会長出席のもと、7月20日にソフトボール大会と文化祭の各実行委員会を開催し、実施要領案を決定した。また、より多くの皆さんの親睦の場を提供するため、文化事業として8月から手芸教室、スポーツ事業として来年1、2月頃の卓球大会の開催が決定され、今後具体的内容を決めて、参加を呼びかけることとなった。

□ソフトボール大会

今回、決勝戦を10月12日(水曜日)に設定し、2時30分からの試合開始としたことと、1チーム9名集まらなかつた場合、助っ人(3名まで。場内従事者に限る)を頼むことができることとなった。(開催日)9月15・16・23・26日、予備日29日、10月6・7日

□文化祭

(開催日) 10月13日(木)・14日(金)(場所)管理棟1階ロビー(出展品目)絵画・写真・書道・手芸・生け花・園芸作品・文芸作品(賞出品者には参加賞(一人1点)を贈呈、但し会員所属構成員に限る。(申込み)10月3日までに所属団体・実行委員経由で協会(FAX3699)へ



(3) 市場だより

大果大阪青果(株) 北部支社長に 堀ノ内重治氏

大果大阪青果(株)役員の仕事異動(府市場関係)《敬称略》、6月24日付。退任は23日付。》



堀ノ内重治氏

《転入》▽専務取締役北部支社長(昇任)堀ノ内重治▽取締役北部支社管理部長(新任)岩上剛 《退任》▽(専務取締役)北部支社長 前田進▽(専務取締役)竹内正

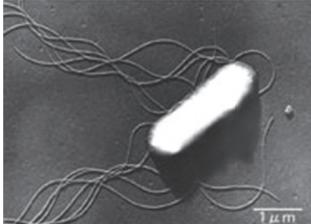
衛 検 だより

悪夢の夏から二十年 〇157食中毒を防ぐために

食品衛生検査所

今年3月末、平成8年に堺市で発生した〇157集団食中毒の後遺症で25歳の女性が亡くなられたと報道されました。

地下鉄サリン事件の翌年に起こった衝撃的なニュースを覚えておられる方も多いと思います。



〇157電子顕微鏡写真 府立公衆衛生研究所

女性と同様、〇157のペロ毒素による溶血性尿毒症候群を発症し、二十年にわたり闘病されている方が

周辺道路の交通安全対策を協議

北大阪流通業務団地周辺道路問題対策協議会

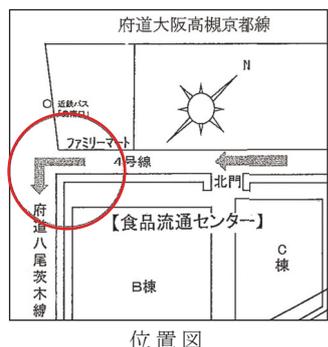


同協議会(代表幹事)大阪府中央卸売市場、構成(茨木警察署、茨木市、府茨木土木事務所、(株)府食品流通センター)府市場管理センター、府市場協会等)では、7月5日に府市場管理棟で会議を開催し、秋の全国交通安全運動に合わせ、9月下旬に、周辺道路の駐車違反車両

対策の一環として、交通安全啓発活動を行うことを決めた。また、これまで懸案になっていた府道八尾茨木線と市道4号線の交差点(図〇印)の安全確保対策が協議され、その対策を茨木市道路交通課、府茨木土木事務所、茨木警察の3者で検討し、9月の啓発活動を行う通知時に、状況を報告することになった。



現場の状況



位置図

管理センターからの報告(要旨)

■活性化事業(ハード事業(税抜)●仲卸店舗屋号看板改修(工期)8月着工予定(事業費)約14百万円●管理棟トイレ改修 第1期・1・4階・本年度、第2期・5・7階・来年度○第1期事業の概要(工期)7/13~12/31(事業費)5千万円※特記事項(工事期間中トイレを順次使用禁止。

但し、1階身障者用トイレ、6・7階トイレは使用可。また、管理棟裏に仮設トイレを設置(7/25から使用可)、7/13から1・2階トイレ使用禁止、8/1から3・4・5階トイレ使用禁止 □ソフト事業 ●イオン市場直送セル(水産物) ●梅花女子大学と連携(学生考案レシピを店頭試食、せりちゃんも動員、四条畷店6/25/7/2、茨木店8/27 ●市場見学※協力をお願いしたい。 ●8/6早朝せり見学(社会福祉法人智恩福祉会)あいあいの舎小学生20名、8/8追手門サマーセミナー中学生40名

腸管出血性大腸菌の検査には、PCRという遺伝子検査の手法を使います。一般的に細菌検査は、時間をかけて培地の中で細菌が増えるのを待つ検査ですが、PCRは腸管出血性大腸菌の持つペロ毒素の遺伝子があるかどうかを直接調べることでできます。細菌の持つ特定の遺伝子配列を増幅して、ペロ毒素の遺伝子の配列と同じかどうかを見分けることで、少量の検体で迅速に判断ができます。

■修繕事業(抜) ●77件、約25百万円執行済み ○仲卸棟回廊塗装修繕工事 △青果(工期)6/10~9/30(事業費)740万円 △水産(工期)6/7~8/31(事業費)521万円 ○水産関連店舗・冷蔵庫間道路舗装修繕工事(工期)7/27休場日 ☆通行止め(ガードマン配置) ※雨天時7/31(事業費)215万円 ○水産セリ場14・16番柱間(塩干・練製品)塗床補修工事(工期)7/16・17・23・24・26・27・30・31

まだ他にもおられることに驚くとともに、腸管出血性大腸菌の恐ろしさを感じました。

安全であるべき学校給食による集団食中毒という、食品衛生監視員を震撼とさせた腸管出血性大腸菌〇157。当時まだ説明されない部分が多いため、保健所職員として調査に走り回ったことを思い出しました。

〇157をはじめとする腸管出血性大腸菌食中毒は、その後も毎年のように集団発生しています。

平成23年には焼肉チェーン店の〇111集団食中毒で4名の方が亡くなり、翌24年には北海道で白菜の浅漬けによる〇157食中毒が発生、169名の患者のうち8名の方が亡くな

りました。平成25年には神奈川県の花火大会で、冷やしきゅうりを原因とする、500名を超える〇157大規模食中毒が発生しました。昨年も府内の保育園で〇26の感染症が集団発生しています。

いづれも初夏から夏にかけて発生しており、この夏も注意が必要です。このような状況の中、検査所では、場内で販売されている食品による食中毒を防ぐため、腸管出血性大腸菌を含む細菌検査を

リアルタイムPCR装置

悪夢の夏が再び訪れることの無いよう、つけない(手洗い・器具の洗浄)、ふやさない(温度管理)、殺菌(加熱消毒の徹底)の食中毒予防3原則を守って、安全な食品を提供できるように共に頑張ってくださいませ。

実施しています。

■不法投棄の防止徹底 ●防犯カメラ設置により効果発揮(6月30件、対前年比▲77.4%) ●投棄者の特定(即警察へ通報、告発)

■ガラス対策 ●捕獲数5回150羽、次回未定

■その他 ●水産 青果 管理棟周辺の定期除草7/29~8/13 ●薬局の再開(8月から) ●診療所の一時休診(8月中)

多彩な見学に対応 人気を呼ぶ！ 市場管理センター

府中央卸売市場管理センター(株)(山口秀雄代表取締役)では市場見学を希望する団体に、多彩な見学の機会を提供し、人気を呼んでいる。

6月2日には、枚方市の牧野小学校の5年生119名が、3台のバスに分乗して来場。3班に分かれて市場を見学した。9時には、青果の卸売場で果実のせりを見学し、続いて水産卸店舗拓新水産(株)では杉江会長から、「この魚を知っていますか」の質問に、多くの生徒さんから回答が飛んでいた。生徒さんからは、「なぜ魚はぬるぬるしてるんですか」、「イセエビに卵を持っていてもそのまま売らんですか」といった発見について質問がで、これに丁寧にお答えしておられた。



(水産卸店舗で)

次に、冷蔵庫棟やごみ置き場、水産仲卸の事務所などを見学した。また、市場の取扱高の上位5

人気を呼ぶ！ 市場管理センター

位を当てるクイズなどが行われ、元氣よく手を挙げて回答していた。

7月7日には、タキイ研究農場付属園芸専門学校から84名の将来就農する学生さんらが、作った作物がどのような流れで消費者の元に届くのかといった勉強のため来場。まず、せり場、バナナ加工棟、次に冷蔵庫棟で冷蔵庫の温度を体験、そして食の安全安心を守る府食品衛生検査所(食品衛生検査所)での検査内容・方法を、最後に会議室で、市場の役割・機能等の説明を受けた。盛りだくさんの内容を実地に見学できたと非常に好評であった。



(食品衛生検査所)

〔見学時間〕午前9時00分から10時30分(1時間30分程度)
〔受け入れ対象・人数〕小学生以上の団体。最大130人まで
なお、詳細は大阪府中央卸売市場管理センター(株)のホームページのイベント情報「市場社会見学」をご覧ください。

秋冬商品展示会を開催

秋うおいちと(株)大水の両北支社は、7月12日に水産棟の各社会議室において、恒例の秋冬用ねり製品・加工食品展示会を開催した。展示会には、

両卸併せて約400社のメーカーがねり製品、麺、和菓子、和惣菜、中華惣菜や塩干品などを中心に、この秋冬に向けてのアイテム約4千種を出展した。



所狭しと並ぶサンプルの前で、とりわけ素材にこだわった高級品を勧めたいメーカーが多く、仲卸や量販店の担当者に熱心に売り込みを図るなど、商談を行っている人たちで賑わった。

第一回場内一斉大掃除

府市場協会安全部会(部会長・東野達雄)府青果卸売協同組合理事(部長)では、6月29日の午前9時から水産関係、正午から青果関係の箇所、食の安全・安心確保のため、市場関係者総出で大掃除を実施した。

大掃除は、定期的に実施しているもので、箒により清掃したのちに、ホ



名古屋市中卸売市場北部市場 視察研修 参加者を募集

MTMの会(府青果卸売協同組合青年会・東野光宏会長)では、6月の福岡市中央卸売市場の視察に続いて、9/7(水)に「名古屋市中卸売市場北部市場」(以下、名古屋北部市場)の視察研修を計画しており、参加者を募集している。※名古屋北部市場の設立は、昭和58年3月で、府市場(昭和53年開場)とはほぼ同時期。現在名古屋北部市場では、施設の老朽化や、卸売市場を取り巻く環境の変化に対応すべく平成26年度に「整備構想計画」を策定、今年度より42年度までの15年計画で実施している。(同市場整備基本計画)

東野会長の話「『今後も長期にわたり産地・消費者から選ばれる中部圏の流通拠点として機能できるようにするための取り組み』(名古屋北部市場)は我々府市場の仲卸にとっても、大いに参考になると考えています。また、今回は営業(開場)している他の市場を見学できる数少ない機会となっております。当日は早朝よりせりや場内見学のため前日より現地バスで散水、また駐車場や大通りには高圧散水車が出動した。不用になった道具やパレットなども分別しながらごみ箱に投入し、整理整頓に汗を流しておられた。



新着図書案内

◆クロスファイア 上・下 宮部みゆき著 光文社文庫
◆宿命 東野圭吾著 講談社文庫
◆夜を乗り越える 又吉直樹著 小学館しもと新書

卸売業者取扱高 (平成28年6月)		大阪府中央卸売市場			
卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	10,711	94.6	2,516,599	94.9
	果実	3,906	97.1	1,405,270	95.8
	小計	14,617	95.2	3,921,869	95.2
水産物	生鮮水産物	1,726	86.0	1,489,920	91.7
	冷凍水産物	294	74.6	302,129	90.7
	加工水産物	1,039	96.9	1,006,843	96.5
	冷凍食品	366	99.1	167,711	96.9
	小計	3,426	89.1	2,966,603	93.4
卸売業者計		18,043	94.0	6,888,472	94.4

開場日数 6月 平成27・28年 22日